

# 建築と社会

Architecture and Society  
Journal of the Architectural Association of Japan

日本建築協会

2018 04

Vol.99 No.1153

## ■特集予告

- 5月号 / スポーツイベントを支える設備技術(仮)
- 6月号 / 「片岡安賞」

## 特集 働き方と価値： 社会に繋がる多様なワークスタイル

### 【座談会】

新しい価値は社会の仕組みを変える—総論にかえて—

●加嶋章博/桑原悠樹/伊藤栄治/東 琢/河野 学/勝山太郎/戸川勝之

<コメント>渡部 剛

8

### 【各論】

- 1 リノベーションの仕事—そしてこれから—  
[団地を整え直す立場から] ●土井睦浩 14
- 2 つながりの中で—行政で働く魅力—  
[行政の立場から] ●吉川玲子 16
- 3 働くこと 考えること 生きること  
—建築設計の働き方の一つとして—  
[建築設計者の立場から] ●三谷帯介 18
- 4 人/境界/社会—けっこうおもしろいやん…—  
[構造設計を楽しんでいる立場から] ●村上陸太 20
- 5 仕事としての建設業—これからの働き方とは、  
そして現場管理者として求められるものは—  
[次世代の現場管理者を育てる立場から] ●七條 稔 22
- 6 ポリシーは「人の役に立つこと」—33年の営業経験を経て—  
[塗料メーカーの営業マンの立場から] ●岡田全可 24
- 7 建築の歴史的価値を社会化する  
[建築の保存再生の立場から] ●笠原一人 26
- 8 建築と不動産のあいだで働くこと—変化のマネジメント—  
[建築と不動産のあいだの立場から] ●高橋寿太郎 28
- 9 家づくりを任せてもらえる設計士に  
[ハウスメーカー設計士の立場から] ●古山太一 30
- 10 建築設計の領域拡張と仕事の価値  
—これからの社会とエネルギー—  
[地球と共生する生き方を模索する立場から] ●澤 秀俊 32
- 11 もしも建築学という分野がなかったら  
—35年間の教員生活をふりかえる—  
[大学教員の立場から] ●吉村英祐 34

会告	第64回工高生デザインコンクール作品募集 第1回建築セミナー「暮らし」から考える住まいの 寸法入門講座 奈良県農業研究開発センター及びなら食と農の魅力 創造国際大学校見学会 U-35委員会企画 5th action「建築と未来」第1回 フューチャーセッション 20年後、幸せに“すまう” ご案内	1
作品作風	ケイ・オブティコムビル	4
gallery	よりしろ●田村慶子	6
法令コーナー	伝建条例を制定 ～神戸市北野町山本通伝統的建造物群保存地区～ ●鈴木瑠子	36
設備の頁	最新リモコン事情～温水洗浄便座●山中章己	37
information	「MOK2018」第23期生 募集要項／特別展「小磯良 平と吉原治良」／特別展「江戸の戯画—鳥羽絵から 北斎・国芳・暁斎まで」／ブーシキン美術館展— 旅するフランス風景画	38
月間の動き	平成30年2月	40

## 今月の表紙

「建築と社会」は、大正14年からB5版サイズになり、誌面が大きくなったためか、全体的に写真が増えた印象を受けます。

大正15年の表紙は、この号以外、誌名を大きく表示した2色刷りのシンプルなもの、1月号のみ、大阪市内の16のビルの写真がコラージュされた『オフィス・ビルディング』の特集号らしい、それまでとは異なった特徴的な表紙となっています。

内容も片岡安会頭の『近代都市の発展と事務所建築の勃興』に始まり、経済面、プランニング、構造、設備、アメリカの事例紹介と多彩な内容になっています。

また、前年の大正14年から「主要建築材料値段」と題し、木材をはじめ様々な建材、塗料、水道、衛生器具などの値段が掲載され、会員への情報発信を行っていたようです。